

都市公園におけるスポーツに関する取組

国土交通省では、社会資本整備総合交付金等により、地方公共団体が実施する都市公園内でのスポーツ施設の整備に対して支援を実施するとともに、直轄事業である国営公園においてもスポーツの振興に向けた取組を行っている。

■地方公共団体の取組に対する支援事例

社会資本整備総合交付金等により、地方公共団体が整備する都市公園において、地域住民が日常的に活用できるスポーツ施設や公式競技にも活用できるスポーツ施設等の整備に対し、支援を行っている。



プール
(佐野市運動公園:佐野市)

H23山口国体
軟式野球場の競技会場
(周南緑地公園:周南市)



◇平成28年度の予算額

社会資本整備総合交付金 898,332百万円の内数

防災・安全交付金 1,100,234百万円の内数

■国営公園における取組事例

国営公園においては、様々なスポーツを楽しめる空間の提供、スポーツイベントの開催等、スポーツの振興に向けた各種取組を実施している。



ディスクゴルフを楽しめる
芝生広場(海の中道海浜
公園:福岡市)



ノルディックウォーキングのイベント
(国営常陸海浜公園:ひたちなか市)

参考：都市公園におけるスポーツ活動の例



インストラクターによるガーデンヨガの開催
【服部緑地(大阪府)】



競技場での少年サッカー大会の開催
【佐久総合運動公園(佐久市)】



少年野球教室
【淡路佐野運動公園(兵庫県)】



さくらマラソン
【吉野ヶ里歴史公園(佐賀県)】

参考：国民体育大会の会場となる都市公園の整備例 国土交通省



東日本大震災復興支援
2015 紀の国わかやま国体

H27紀の国わかやま大会の開・閉会式の会場となった紀三井寺（きみいでら）公園の陸上競技場



えがお 愛顔つなぐえひめ国体

国体みきやん



【陸上競技場】

H29えひめ大会に向けて整備中の愛媛県総合運動公園

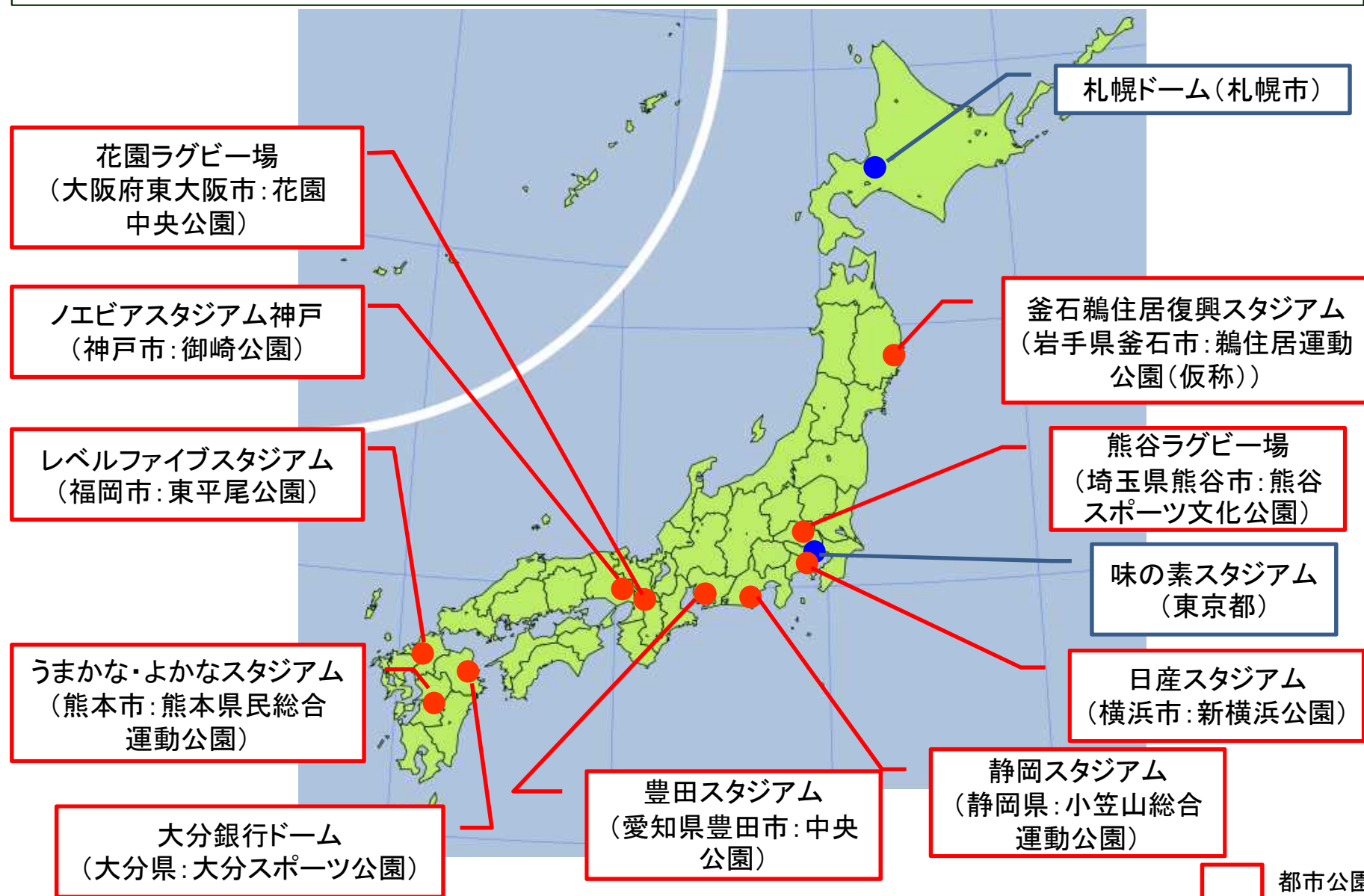


【体育館】

○国民体育大会の開催地

年度	開催地
H27 (2015)	和歌山県
H28 (2016)	岩手県
H29 (2017)	愛媛県
H30 (2018)	福井県
H31 (2019)	茨城県
H32 (2020)	鹿児島県
H33 (2021)	三重県
H34 (2022)	栃木県
H35 (2023)	佐賀県
H36 (2024)	滋賀県

会場の12箇所中10箇所が都市公園





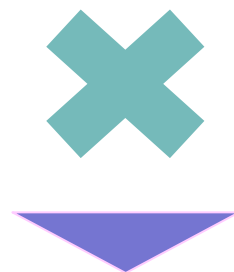
スポーツを観光資源とした地域活性化

平成28年 6 月14日

観光庁



我が国の優れた
スポーツ資源



旅行／観光
ツーリズム

世界的にもハイレベルな “観るスポーツ”

観光客が滞在プランの一つとしてスポーツ観戦も行うことや、スポーツの観戦者が現地のご当地グルメや周辺観光を楽しむことにより、旅行内容を充実。これにより各スポーツの普及振興、そして地域活性化を目指す。

プロ野球、Jリーグ、ラグビー、バレーボール、プロゴルフ、大相撲、F1、柔道、総合格闘技 .etc

世代を超えて人気を集める “するスポーツ”

マラソン等の参加者が応援の家族と共に温泉など周辺観光を楽しむ、また観光客がテニス等に勤しむことのほか、健康の増進、スポーツ施設の有効利用、スポーツ用品・ファッションの需要喚起、そして地域活性化を目指す。

マラソン、ウォーキング、サイクリング、登山、トレッキング、トライアスロン、スキー、ゴルフ、草野球 .etc

地域や国が一体となって携わる “支えるスポーツ”

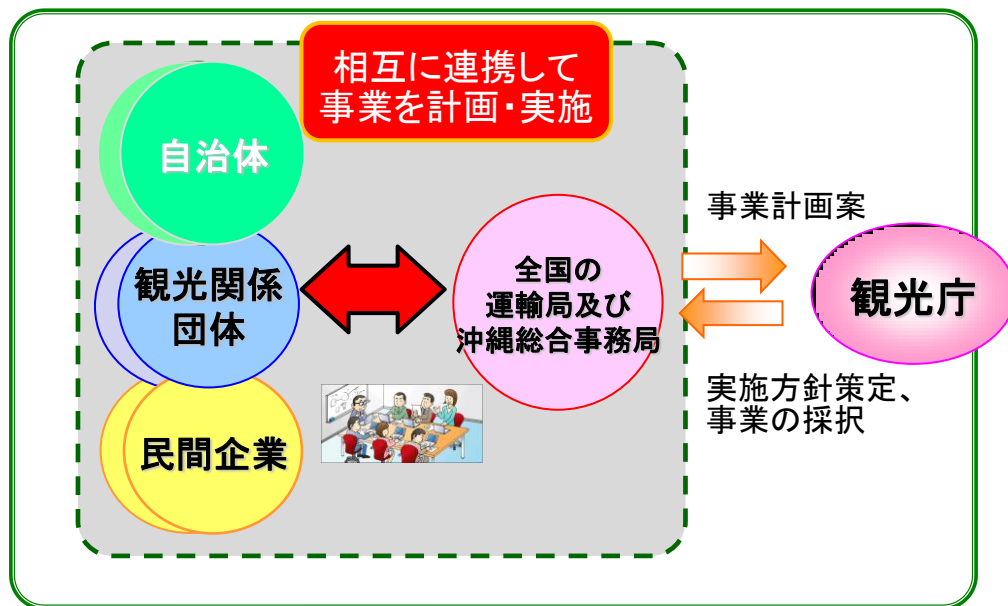
スポーツチームの地域経営や市民ボランティアとしての大会支援、国際競技大会・大学等の部活動・キャンプ合宿などの誘致により、交流人口の拡大、地域活性化、地域・国の観光魅力の効果的発信を目指す。

プロリーグ運営、国体、インターハイ、マラソン大会、合宿誘致、運動会、五輪、各種国際大会、各種世界大会 .etc

ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業について

- 国と地方(自治体及び観光関係団体等)が広域に連携して取り組む **訪日プロモーション事業**
- 地域が連携することにより、訪日外国人旅行者の訪問地の多様化、滞在日数の増加、多様なニーズへの対応、及び、これらによる訪日リピーターの増加を図る。

VJ地方連携事業



- ◎ 滞在日数の長い外国人旅行者のニーズに対応
- ◎ 新たな季節や地域の訪日需要を喚起し、訪日時期や地域の分散化

Point

【事業内容の例】

(国内で行う事業)

- 旅行会社関係者等の招請
- メディア関係者等の招請
- 教育関係者等の招請

(国外で行う事業)

- 海外旅行博への出展
- 海外新聞・雑誌等への広告掲載

(国内外で行う事業)

- 外国人向けパンフレット作成 等

訪日
外国人
旅行者の
拡大

地域が広域に連携



具体事例



台湾でのパ・リーグ
プロモーション

○歴史的景観、美しい自然、海洋資源、豊かな農山漁村、魅力ある食文化等の観光資源を活かした着地型旅行商品と、体制づくり、受入環境整備、二次交通の充実等の施策を一体的に支援することにより、観光地域づくりを推進。



【取り組みのイメージ】

スポーツ資源



温泉・食



プロ選手による指導や交流



健康と温泉をテーマにした
着地型ツアー



国内外の観光客が全国各地を訪れる動機を与えるため、特定の観光資源に魅せられて日本各地を訪れる「テーマ別観光」のモデルケースの形成を促進し、地方誘客を図る。

テーマ別観光となる観光資源の例

世界遺産、日本遺産、社寺観光、酒蔵ツーリズム、アートツーリズム、**スポーツ**、ロケーション、街道観光、山岳観光 等

酒蔵ツーリズム

- ・酒造りの現場見学会の開催
- ・杜氏を交えた利き酒会
- ・酒の副産物を活用した商品開発



ロケーションツーリズム

- ・ロケ地を観光資源として活用
- ・ロケ地マップ(映画等に撮影された場所の地図)を作成し、観光客の周遊を促進

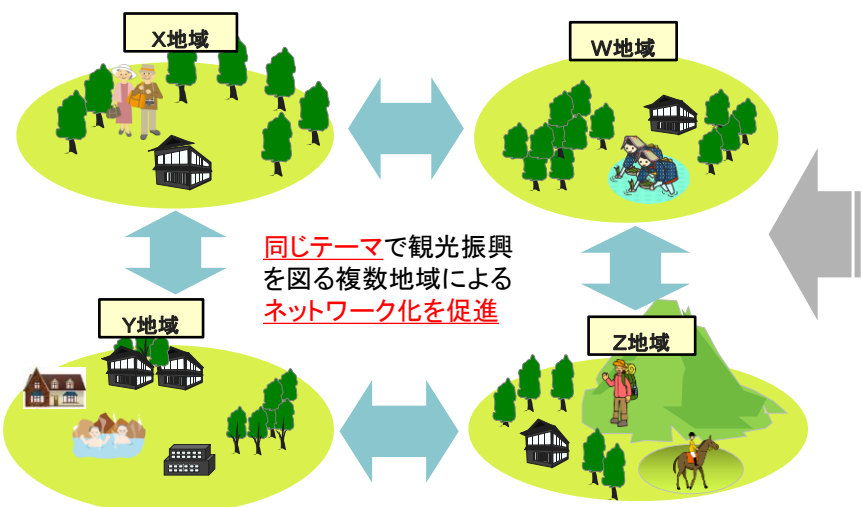


スポーツツーリズム

- ・スポーツ観光と現地の周辺観光を楽しむこと
- ・マラソン大会等との連携
- ・大学等の部活動・キャンプ合宿などの誘致



ネットワーク化のイメージ



国による支援例

ネットワークの構築

- ・地域連携協議会の設立

ネットワーク間の共同での取組

- ・マーケティング
- ・共通パンフレット
- ・周遊クーポン等の作成
- ・周遊プランの形成
- ・共同プロモーション
- ・共同サイト開設

ネットワークの拡大推進

- ・シンポジウム開催
- ・共通マニュアル作成 等

期待される効果

旅行者

- ・特定のテーマに関心の高い旅行者にとって、**より魅力的な旅行を享受**

地域

- ・旅行者の複数地域への**来訪需要を創出**
- ・地域間で課題や**成功事例を共有**することによる、**効果的な観光振興策を推進**

スポーツ関連施策について



自然公園等利用ふれあい推進事業経費

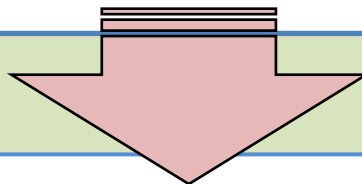
平成28年度予算額10百万円(10百万円)
支出予定先:民間団体等

◎環境基本法 第14条第3号(施策の策定等に係る指針)

人と自然との豊かな触れ合いが保たれること。

◎生物多様性国家戦略2012-2020 第3部第2章第1節及び第5節

- ・ 自然ふれあい施設や体験活動のイベント等の情報提供など自然とのふれあい活動の推進
- ・ 国立公園や長距離自然歩道等での自然とのふれあいの場の提供
- ・ 農山漁村や国立公園等学校外で五感で感じる体験活動の推進 等



- ・ 自然とのふれあいの推進について、重点推進期間を中心とした全国的な普及啓発
- ・ 小中学生を対象とした自然観察会、外来生物駆除などの自然体験教育プログラムの実施
- ・ 自然公園指導員やパークボランティアに対する安全講習や研修等の実施

○自然体験教育プログラムの実施例 「子どもパークレンジャー事業」

全国各地の国立公園などで、環境省レンジャーと共に自然観察や動物や植物の調査などを体験し、自然の大切さや生きものに対する思いやりの心について学ぶプログラム

